

令和3年度 第2回江別市スポーツ推進審議会（書面開催）

補足説明資料

1 報告事項

- (1) 令和3年度江別市青少年スポーツ賞・スポーツ奨励賞・教育委員会賞 について
(資料 1～5ページ)

市では、毎年、スポーツ活動等を通じて活躍され、スポーツ大会において優秀な成績を収められた青少年を対象に江別市青少年スポーツ賞、スポーツ奨励賞、及び教育委員会賞を贈呈し、表彰している。

・表彰者の選考基準（1ページ）

「スポーツ賞」は、全国大会で3位以内、通算2年以上の入賞、全国記録の更新、「スポーツ奨励賞」は、全道規模の大会で優勝、全道記録の更新、「教育委員会賞」は、全道規模の大会等で2位又は3位としている。

・令和3年度スポーツ賞等受賞者一覧（2～4ページ）

スポーツ賞は、1件（1個人）

スポーツ奨励賞は、25件（12個人、13団体）

教育委員会賞は、15件（9個人、6団体）

・受賞者数統計（5ページ）

令和3年度の受賞者数は、令和2年度と同様、新型コロナウイルス感染症により、各スポーツ大会が中止となった影響を受け、令和元年度以前と比較して少ない状況。

・贈呈式について

贈呈式は、当初、令和4年2月19日（土）に、江別市民文化ホール（えぼあホール）で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道におけるまん延防止等重点措置が適用されたことを受け、開催を3月21日（月）に延期。実施方法について現在検討中。

(2) 令和4年度スポーツ関係予算(案) 主要事業について(資料 6ページ)

令和4年度のスポーツ関係予算(案)について、6ページでは、スポーツ関係の主だった事業を掲載している。

前年度と変更のある事業や予算の増減が大きい事業について下記で補足説明する。

・ 体育施設整備更新事業(4行目)

各体育施設の軽微な修繕に係る経費を計上。その他、電波法関連法令である無線設備規則の一部改正により、使用できなくなるワイヤレスマイクの更新経費と、今年度移転したはやぶさ運動広場跡地の草刈経費を新たに計上したため前年と比較して増額となった。

・ 市民体育館改修整備事業(5行目)

市民体育館の体育室屋上において防水表面に破れや劣化があり、雨漏りが頻発していることから、屋上防水改修工事を実施するもの。なお、体育室は工事期間中も利用することは可能。

・ 大麻体育館改修整備事業(6行目)

利用者から照度が足りず「明るくしてほしい」旨の要望があることや水銀灯が2020年に製造禁止となったことなどを受け、第1体育室の照明を改修(LED化)するもの。なお、工事は、令和4年12月頃(1ヶ月程度)を予定し、工事期間中は、第1体育室を利用は不可。

・ 屋外体育施設管理運営事業(7行目)

令和3年度まで、特設スケートリンク(第二中学校グラウンド、期間:1月上旬~2月上旬)の管理経費のほか、はやぶさ運動広場の管理運営経費を計上していたが、はやぶさ運動広場の移転に伴い、令和4年度は、特設スケートリンク分のみでの計上となったため、前年と比較して減額となっている。なお、はやぶさ運動広場は、江別市都市と農村の交流施設(えみくる)内に移転したことから、令和4年度からは、経済部(農業振興課)が所管する予定。

・ 屋内体育施設管理運営事業(8行目)

今年度、第5期(令和4年度から令和11年度まで)の指定管理選定作業が行われ、市内4体育館は、第4期と同様に、一般財団法人江別市スポーツ振興財団が選定されている。

・ あけぼのパークゴルフ場管理運営事業(10行目)及び森林キャンプ場管理運営事業(12行目)

今年度、第5期(令和4年度から7年度まで)の指定管理選定作業が行われ、両施設とも第4期と同様に、エコ・グリーン事業協同組合が選定されている。

・ あけぼのパークゴルフ場改修整備事業(14行目)

1コース9ホールを増設するもので、今年度に現況測量・実施設計を行っており、令和4年度には、増設工事の実施を予定している。

別紙コースレイアウト図には、現段階でのコース案を記載。

工事期間は、6月から10月下旬までを想定しており、一般利用の開始は、令和5年度を予定している。なお、新コースの増設に伴い、令和4年度中に利用料金の見直し作業を行い、令和5年度から新料金とする予定。

・ スポーツ大会等振興補助事業（15行目）

一般財団法人スポーツ振興財団が実施する、原始林クロスカントリー大会などのスポーツ大会を開催する事業、トレーニングに関する相談や指導を行う事業、スポーツ指導者を養成する事業に対する補助金を計上している。予算額は、8行目の指定管理事業との職員配置割合を見直したことにより前年と比較して減額となった。

・ 特別支援学校フットサル大会開催支援事業（17行目）

当該事業では、障がい者のスポーツ大会の開催を支援することで、障がい者（児）に対する理解を深め、多様な主体がスポーツに取り組める環境づくりを図ることを目的としている。最寄駅等から会場までの送迎支援に要する経費のほか、大会開催に要する経費の一部を計上している。

・ 高校総体北海道開催事業（18行目）

令和5年度に開催されるインターハイ北海道大会における江別市開催競技の準備に要する経費を新たに計上している。

江別市は、「ホッケー」「飛込」「競泳」の3競技の会場市となり、令和4年度は、会場市実行委員会を立ち上げ、事務局を設置し、競技実施に必要な各種計画の作成、会場設営や当日の運営方法などについて検討を行い、大会実施に向けた準備を進める。